

千種生活圏の拠点づくりの考え方（内容の整理）

＜千種生活圏の現状＞

千種の魅力（強み）	千種の課題（弱み）
①温かい人柄・地域コミュニティ	①交通の不便
②特色があり、充実した既存施設	②買い物の不便
③豊かな自然環境・観光資源	③高齢者の生活不安、公共料金の負担感
④地域に根付いた伝統文化	④若者の地域離れ（働く場の不足）
⑤県境に隣接した立地条件	⑤コミュニティに対するマイナスイメージ
⑥良好な子育て環境	⑥地域医療の不足
⑦魅力ある教育環境	⑦空き家の増加

求められる取り組み	
地域内での取り組み	地域外への発信
①高齢者支えあいの仕組みづくり	①教育・子育て環境の魅力発信
②若者向け住宅・子育て支援の充実	②自然を活かしたプロモーション
③交通環境の改善	③交通環境の改善
④商品・観光開発（儲かる仕組みづくり）	④企業・事業者向けの情報発信
⑤イベント・賑わいの場づくり	
⑥教育環境の更なる充実	
⑦自然資源の活用	
⑧安全安心な社会環境づくり	

コンセプト（例）

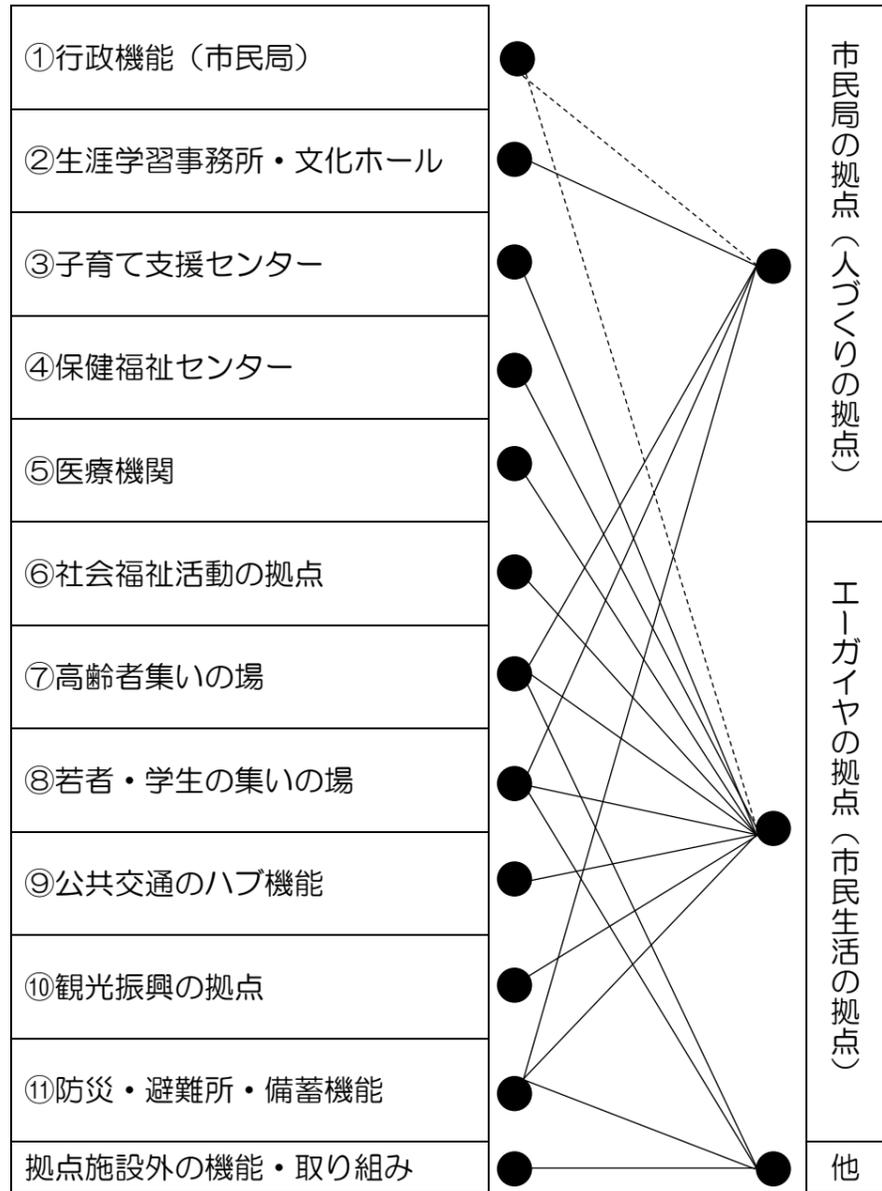
〔 子育て・教育環境のブランド化 〕

子育て・教育環境を充実し、地域ブランドとして地域内外に発信。地域コミュニティの充実により地域外からの受入ができる態勢づくりを推進。

＜拠点づくりの方針と取り組み（例）＞

- （1）コンパクトプラスネットワークの実現
 - ①集落と拠点、拠点エリア内の移動手手段の確保
 - ②住民の利便性の向上
- （2）世代間・地域間の交流促進
 - ①市民活動や協働のまちづくりのための寄合所
 - ②気軽に立ち寄れる憩いの空間
 - ③地域人材の活躍・学びの場
- （3）地域経済活性化と買い物の場の維持・確保
 - ①日常的な買い物の場・民間サービスの確保
 - ②商店街の活性化
- （4）地域の文化や地域情報の発信
 - ①子育て環境の充実
 - ②魅力ある教育環境の充実
 - ③観光機能の強化
 - ④情報の発信拠点
- （5）安全安心の拠点づくり
 - ①防災・減災、避難所・災害時の備え
 - ②支えあいの仕組みづくり

＜拠点施設の主な機能＞



＜拠点施設が有する機能の検討＞

◆行政機能（市民局）の位置づけについて

これまでの議論を踏まえ、将来的な地域づくり、市民の利便性を考えれば、行政機能は保健福祉センターを含め一本化が望ましいが・・・（コミュニティ ○ 市民の利便性 ◎ 敷地スペース ×）の状況 → 拠点施設の分散化を検討。

＜拠点の分散化（案）＞

市民局の拠点・・・人づくりの拠点
 エーガイヤの拠点・・・市民生活の拠点

中間とりまとめ案では、行政機能（市民局）を1つの機能として整理しているが、位置づけを議論していく上で、機能を細分化して検討。

学習・団体支援	地域づくり	行政窓口	産業・社会資本
生涯学習講座等 各種団体の育成 ・支援 人権・青少年 文化・図書館	住民・自治会 まちイベント 地域づくり支援 消防・防災 人権啓発等	戸籍・税等窓口 国保・介保届等 年金届等 環境対策・衛生 飼育犬登録等	農林業・商工業 観光振興 市道・河川管理 住宅・上下水道

市民局（人づくり）の拠点
 ＜行政機能の細分化（案）＞
 人づくりの拠点に自治会や各種団体の育成・支援を行う機能を置き、市民生活の拠点に他の機能を集約することで市民の利便性を向上。

I-ガヤ（市民生活）の拠点